

ICTを活用して学ぶ意欲を高め心のつながりを育む学習をめざして

情報教育研究部

第3回 指定研修会 期日：11月6日（水） 会場：船岡小学校

1 公開授業

5年社会「情報化した社会と私たちの生活」 授業者 中村 圭吾 講師（船岡小）

2 研究協議

(1) 授業研究会

- 自評
- ・PCでノートをとることのメリットは、児童の興味関心が高いこと、訂正が簡単であることである。デメリットは、ノート指導が難しいこと、書くよりも記憶に残りにくいことと考えた。
 - ・ノートは単元ごとにプリントアウトして、ノートに貼り、手書きで書き加えている。
 - ・単元ごとにパワーポイントを活用して、知識の習得を図っている。
- 協議
- ・単元の導入では、「単元のねらい」を共有することにより、児童の情報に対しての興味関心を高めていった。
 - ・情報機器の良さは視点を集中させることができ、視覚的支援として有効であった。ただ、メリット、デメリットがあるので、デメリットをいかに軽減していくかを考えながら学習しなければならない。
 - ・情報機器の教科学習での活用は、映像、デジタル教材、タブレットによるノート指導など様々な活用例があがった。

(2) 指導・講評

指導助言者 南部町教育委員会 総務・学校教育課 福田範史 課長

- ・情報機器を活用することで、児童にとっての社会科のハードルが低くなった。
- ・タブレット機器を活用した実践が広がっていて、外とのつながりが広げられるので効果的である。但し教師が機器に慣れていく必要があるのではないか。
- ・「活用」「理由」という言葉は、児童に入りにくかった。普段の言葉（「なんで、その番組見たの？」など）を使うと話の中で学習につながる内容が出たと思う。
- ・デュアルディスプレイの活用については、画面を切り替える際の声かけがあり配慮されていた。

3 講義

(1) 講義「ケータイ・インターネットの現状と課題」

講師 南部町教育委員会 総務・学校教育課 福田範史 課長

- ・ケータイ所有率、各メディア利用時間、WEB利用シーン
- ・ケータイ・インターネットの抱える問題点
- ・ケータイのリスクについてなど

〈文責 若桜学園小 小林 一寿〉